

## 学級活動で活用する ～向上心、個性の伸長～

下松市立下松中学校 山本 智枝

### 1 本場面におけるポイント

- エゴグラムを用いて自分の特徴を見付ける導入部分で、「自分はこうありたい。」「自分の良さはどこにあるのか？」など、思っているもなかなか表現することができないことばを朗読することで気付かせる。
- 「今の自分」の特徴を知り、「なりたい自分」を考えた後に、朗読を通して「今の自分」を受け入れて成長していくことが大切であることに気付かせる。

### 2 授業の実際

#### 1 主題名 自分探し～私が知らない私～

#### 2 ねらい

- エゴグラムの作成や結果を通して「今の自分」を知る。
- 「なりたい自分」をイメージしてエゴグラムを作成し、「今の自分」を受け入れて成長していくことが大切であることに気付かせる。

#### 3 展開

##### (1) 導入

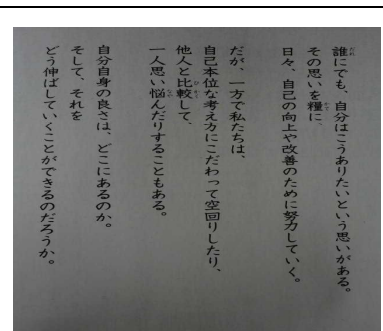
教師：自分がどんな人なのか、自分でわかっている人はどれくらいいますか？手を挙げてみてください。

生徒：近くで顔を見合わせるが、手を挙げる生徒はいない。

教師：では、「私たちの道徳」の38ページを開けてください。

(教師による朗読)

教師：今日は、「自分探し」をして、自分の良さを見付けていきたいと思います。



「私たちの道徳」P.38

##### □ 「私たちの道徳」活用のポイント

運動会や文化祭などの学校行事を通して、小学校時代とは違った自分を見付けたり、活躍する先輩たちをみて「先輩たちのようになりたい。」という思いをもったりしてきた。その気持ちが文章として表現してあるのが、このページである。教師が朗読をすることで、「自分はこうありたい。」「自分の良さはどこにあるのか？」など、考えながらエゴグラムを行えるよう、気持ちづくりをしていく。

##### (2) 展開 エゴグラムの作成

教師：では、50の質問があるので、答えていきましょう。

生徒：真剣にプリントに取り組む。

(時間をみて)

教師：全ての質問に答えたら、○は2点、△は1点、×は0点として、それぞれ①～⑤までの合計点を出し、グラフ用紙にグラフを作成してみましょう。

教師：それでは、①～⑤の項目がそれぞれ何を意味しているか、教えますね。



【写真】50の質問プリント

(プリント配付・説明)

生徒：とてもあたってる。

優しい母親の心があって意外だった。

自分がそんなに優しいかな？と思った。

子どもっぽいと思っていたけど、意外とちがった。

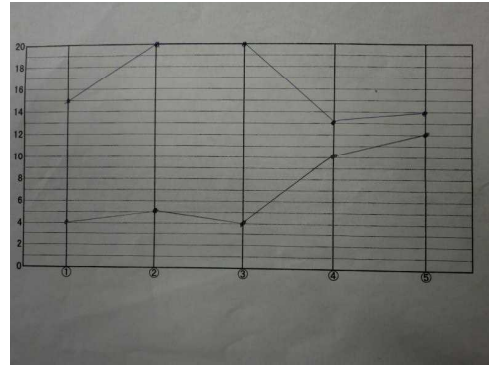
教師：では、次に「こんな自分になりたい。」という気持ちで同じように質問に答えて、グラフをつくってみてください。



【写真】活動のようす

□ 指導上の留意点・支援

本来のエゴグラムはCP、NP、A、FC、ACという項目で表すが、わかりにくいので①～⑤というように数字で表した。そして、それぞれの項目をできるだけわかりやすく簡潔に説明した。まず、グラフを書かせて、自分の特徴を見付けさせるが、どの項目が高いから良いというわけではないということ伝えた。そして、次に「なりたい自分」をイメージしてエゴグラムを作成させ、「今の自分」との違いを見付けさせた。



【写真】「今の自分」と「なりたい自分」を比べたグラフ

(3) 終末

教師：では、「私たちの道徳」の39ページを開けてください。

(教師による朗読)

教師：「今の自分」を知り、「なりたい自分」を考えました。最後にこの詩を読んで思ったことを書いてみましょう。

生徒：感想から

- ・自分になりたいと思ったところで、すぐになれることはまずありません。だから、今日の題名のように、自分探しをしてみようと思います。
- ・自分の良さも悪さも受け入れて、良さをどんどんのぼしていきたい。
- ・もう少し、自分に自信をもてたらいいなと思いました。ただ、理想を高くしすぎると、プレッシャーになるので、認めるところは、認めたいです。
- ・「今の自分」でいけないと思う項目は「なりたい自分」になれるように意識したい。

□ 「私たちの道徳」活用のポイント

「今の自分」を好きになること、「なりたい自分」になるために成長していくことが大切である。この詩を読んで、これからどんなこと意識して中学校生活を送っていききたいか考えさせる。

**3 実践を振り返って**

以前もエゴグラムを使った学級活動を行ったことがあったが、性格診断のような形で終わってしまった。今回は、導入と振り返りのときに「私たちの道徳」の詩を朗読することで、「今の自分」がもっている良さを受け入れ、伸ばしていくことが大切だということに気付いた生徒が多かった。そして、「なりたい自分」になるために努力していくことも大切だと考える生徒も多かった。

「私たちの道徳」の中には、道徳の資料としてじっくり考えるものもあるが、学級活動の導入部分で使える資料も多く含まれていると思う。今後も、他教科の学習とも関連付けて資料を活用してみたいと思う。